

静岡県総合防災訓練（医療救護訓練）について

1 要旨

「総合防災訓練」は、昭和 54 年から毎年、9 月 1 日の「防災の日」の前後に実施しており、令和 5 年度で 43 回目である。

本年度は、南海トラフ巨大地震（想定：震度 7～6 弱）の応急対策が山場を迎える発災 24 時間後を想定し、県庁本部と方面本部、市町、関係団体等の連携強化、各種計画等の実行性の検証等を目的に実施した。

実動訓練については、浜松市・湖西市が共催で実施した。

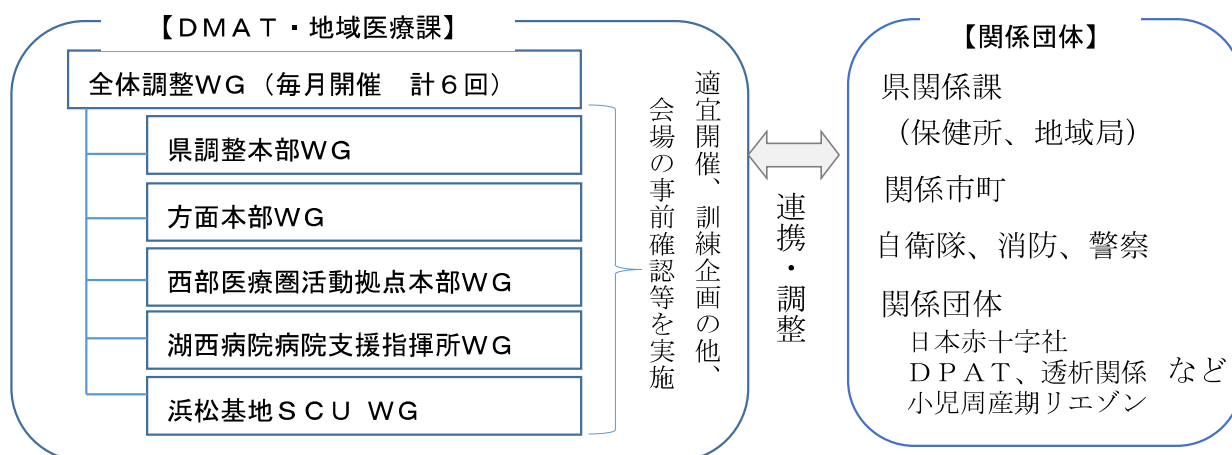
※西部地区での実施は、平成 28 年度の掛川市での開催以来 7 年ぶり

2 概要

区分	本部運営訓練（図上訓練）	実動訓練
日時・場所	令和 5 年 8 月 2 9 日（火） 8:00～12:00【県内全域】 ・県庁（DMAT調整本部） ・方面本部、SCU（中部・東部） ・DMAT活動拠点本部	令和 5 年 9 月 3 日（日） 8:00～12:00【浜松市・湖西市】 ・浜松赤十字病院 ・市立湖西病院、湖西運動公園 ・西部 SCU（空自浜松基地）
関係機関の参加数	DMAT 73 人（15 病院） DPAT 11 人（3 病院） 災害時小児周産期リエゾン 10 人 透析関係 3 人 その他（県医師会、赤十字社など）	DMAT 139 人（22 病院） DPAT 27 人（6 病院） 災害時小児周産期リエゾン 11 人 透析関係 6 人 その他（市消防局、自衛隊など）
（参考） 医療救護訓練以外の訓練	・市町の初動体制等を支援する市町支援機動班（県職員）の派遣 ・緊急輸送ルートの設定及び道路啓開業務手順の確認 ・ドローンを活用した被害状況収集	・消防ヘリ等を活用し、津波被害による孤立場所からの要救助者搬送 ・民間の県広域物資輸送代替拠点で物資受入訓練 ・住民主体の避難所開設訓練 等

3 訓練の企画・準備

- ・本年度から、県職員、DMAT等を中心に、訓練企画の段階から関係団体が参画するWGを設置し、各WGごとに訓練内容、関係団体との調整等を実施した。
- ・訓練終了後のアンケートでは、回答者の 98%から「今後も継続すべき」との回答を得た。



4 主な訓練内容

(1) 本部運営訓練 (図上訓練)



DMA T、小児周産期リエゾン等と連携した情報収集・伝達訓練 (左：県庁、右：東部保健所)

(2) 実動訓練



自衛隊ヘリによる地域医療搬送訓練 (浜松赤十字病院)



病院前救護所訓練 (浜松赤十字病院)



救護病院訓練 (市立湖西病院)



広域医療搬送訓練 (自衛隊浜松基地SCU)

「医療ネットしずおか」の全国統一システムへの移行

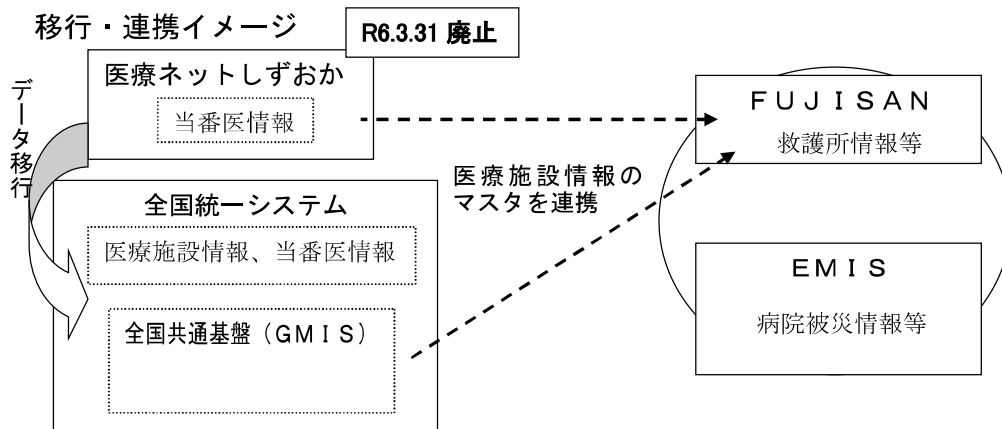
1 要旨

- これまで各都道府県が運用していた医療機能情報提供システム（本県は「医療ネットしずおか」）は、令和6年度から厚生労働省が運用する「全国統一システム」に統合される。
- 医療・薬局機能情報検索や当番医検索等、機能が重複する「医療ネットしずおか」は令和5年度末に廃止予定。
- 「全国統一システム」関係者向けサービスが11月27日（月）より開始、ユーザ情報登録に御協力いただいた関係者宛てにユーザID等がメールで一斉送信される。
- メール受信から7日以内に「全国統一システム」へログインが必要となる。

2 全国統一システム構築のメリット

区分	内容
住民	全国単位で同一項目での検索が可能 等
医療機関	統一された医療機能情報の発信 等
行政	システムの運用・改修の効率化 等

3 移行・連携イメージ



4 スケジュール

- 関係者向けサービス開始：令和5年11月27日（月）
- 住民・患者向けサービス開始：令和6年4月1日（月）

